

# 広報 なかわだ

## 第 366号

### 4月の予定

|            |                |
|------------|----------------|
| 教会委員会      | 4月11日          |
| 聖週間(木/金/土) | 4月1,2,3日 19:00 |
| 復活の主日      | 4月4日           |
| 子どもと捧げるミサ  | 4月25日          |
| 宮内司祭叙階式    | 4月29日          |



(ピエタ (ミケランジェロ))

## 2010年4月号

中和田カトリック教会  
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1  
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成22年4月4日



## 三つの部門について

主任司祭 小林 陽一

司教教書「共同宣教司牧に向けた新たな宣教司牧評議会と地区共同宣教司牧委員会」5頁には、「小教区としても、また地区としても、それぞれ自ら力によって、信仰を伝え、祈りを捧げ、人々に愛をそそいでいけるような共同体に成長することが期待されているのです。」と書かれ、「各地区に三つの部門を設けて下さい。すなわち、①祈る力を育てる部門 ②信仰を伝える力を育てる部門 ③神の愛を証しする力を育てる部門です。」と記されております。三つの部門とは、前記の①②③のことを言っております。

中和田教会が所属する第5地区共同宣教司牧委員会には、2008年から三つの部門が設けられ、委員会のメンバーは必ずこの三つの部門の一つに加入し、討議を重ねてきております。中和田教会のような小教区にも、この三つの部門の立ち上げが必要となってきております。

### ① 祈る力を育てる部門

この部門は、中和田教会の典礼部が受け持っている仕事の対象となります。この部門で取り上げられているものは、司祭不在の小教区の集会祭儀と聖体拝領の典礼です。これは、病気その他の理由で小教区に司祭が不在となった時、その小教区の修道者、信徒が力を合わせて、聖堂内で集会祭儀と聖体拝領の典礼が行えるようになることです。この典礼の実施のために、先唱者、朗読者、侍者、そして集会祭儀の司式者と信者に御聖体を授ける聖体奉仕者が必要です。これを実行する上で必ず守らなければならないことは、

1. 司式者、朗読者、侍者、聖体奉仕者がくじけることがないように、非難や不平、そして文句を慎み、共同体全員が奉仕する人に祈りを捧げて支えること。

2. この典礼が長続きするよう、手だてを講じること。

祈る力を育てる部門は、自らの力によって祈りを捧げることのできる共同体に成長するよう、常に共同体づくりを意識していなければなりません。そうした点から、葬儀の典礼は、信徒がやれる典礼は信徒が受け持つことで、共同体の中の支え合いが伸びることになります。例えば、通夜、葬儀ミサ、告別式、火葬場の祈りなどの中で、信徒が出来るものは信徒にやっていただくことが必要になってきます。

### ② 信仰を伝える力を育てる部門

これは、現在、宣教部、要理学校、中高生会、要理クラス、聖書勉強会がこの部門に入ります。

信仰を伝える力を育てることは、現在まで司祭、修道者が主に続けてきました。要理学校や堅信クラスのリーダーも、信仰を伝える力を育ててきました。これから「信仰を伝える力を育てる部門」として、中高生の親と関わって、伝える側と伝えられる側の双方をバックアップする必要があります。

ポスターやパンフレット、ちらしは、信仰を伝える手段として大事なものとなっております。

### ③ 神の愛を証しする力を育てる部門

これは、現在、福祉部が携わっている部門です。地震発生後の物資の救援活動、献金募金活動、アフリカに毛布を送る活動、ホームレスの人たちを助ける活動などがこの部門に入ります。

三つの部門の立ち上げは、教会をベースにした共同体づくりが最終的な目的です。大きな成果があがるのがねらいではなく、共同体づくりと神の愛を証しする力を育てることにつながるかどうかかねらいです。

上記三つの部門の活動のため、信徒、修道者、司祭が協力し合うこと、祈ること、聖霊が働くよう祈ることを大切にいたしましょう。

# 『愛のびん』 献金とお米提供のお礼とご報告

福祉（神の愛の証しをする）グループ 中島 喜美子



昨年、横浜教区の難民移住者緊急支援の呼びかけに応じて『愛のびん』を置かせて頂いて以来、たくさんの支援金を入れていただき、ありがとうございました。

また、今年に入ってからハイチ大地震、チリ大地震と度重なる災害による被害が発生し、引き続き『愛のびん』へのご協力をお願いいたしました。そして、早速この困難の中にある方々に、カリタスジャパンを通して支援金をお送りすることができました。

一方、身近なところで、山手教会と戸塚教会がホー

ムレスの方々への炊き出し活動をしておられることを聞き、これに協力することとし、皆様にお米と資金の提供をお願いしましたところ、予想以上にたくさんのご協力をいただき、早速戸塚教会にお届けし、バーク神父様がたいへんよろこんでくださいました。毎週300食のカレーライスを配っておられるのだそうです。

炊き出し活動への協力（お米と資金）は、今後も引き続き行います。また『愛のびん』の支援なども必要に応じて行っていきたくと願っております。

分かち合う心で、どうぞご協力をお願いいたします。

## 出エジプトと聖地巡礼の旅：(1) シナイ山登頂

下村 毅・昭子

今回、長崎時津教会献堂30周年として行われた、聖地巡礼に参加して来ました。

今回指導司祭は（長崎・時津教会：山村憲一神父と、3月より長崎教区・八代教会に赴任される夫津木昇神父）の2名、巡礼者は時津教会3名・三島教会1名・中和田教会2名・新潟県未来信者2名の10名と、旅行者の添乗員（聖書を良く勉強されている方）の11名でした。

行程は、2月1日日本を飛び立ち、アムステルダム経由でカイロに入りました。

その後の巡礼は★カイロ市内★3日早朝にはシナイ山登頂。★エジプトからイスラエルに一時入国しヨルダン国ペトラ遺跡★ネボ山（モーセ終焉の地）☆ヨルダン川（イエスの洗礼場所）

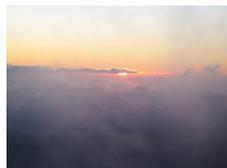
★更にイスラエル国へ★クムラン（紀元3～2世紀書かれた旧約聖書が発見された）★死海で浮遊体験をしてきました。★マサダ（ヘロデ王によって作られた要

なお、聖書関連は赤字で記載しますので、興味のある方は「聖書」を参考にしてください。

塞) ★ベツレヘム（パレスチナ自治区のため土産物屋の車に乗換えて）★エルサレム旧市街地（城壁内）・新市街地★シオンの丘★エンカレム（洗礼者ヨハネ誕生教会）★エマオ（復活後2人の弟子に現れた）★カイサリア（ヘロデ王によって造られた港湾都市）★カルメル山（エリアとバアルの預言者が戦った場所）★ガリラヤ湖畔★ゴラン高原★至福山（山上の説教の丘）★タブハ（ペトロと魚の教会）★ピリポ・カイザリア（ペトロの信仰告白の地）★カナ（イエスが最初に行った奇跡の場所）★ナザレ（受胎告知教会）★タボール山（主の変容の教会・その姿が光のように白くなった）★旅も終わり2月14日帰国しました（飛行機便が少なく30時間も掛かりました。）

今回、広報への報告は

1回目：シナイ山登頂 2回目：イエスの誕生 3回目：十字架の道行き 4回目：オリブ山 5回目：至福山 6回目：カナとナザレ としてしたいと思います。



2月4日シナイ山  
標高 2285 mのご来光

### ◆シナイ山に着く (出エジプト記)：19：1～6

寒い神父の頭に霜が降りるし、背中のペットボトルが凍る



空は晴れ渡り、シナイ山を振り替える

この山道を午前3時に、懐中電灯を頼りに登りました。

強風の中800段の階段道は、各国の巡礼者で一杯でした。そして、道路はラクダが優先です。



山頂左側の建物は教会  
帰りは、一番最後に降りたため人影は無い



シナイ山下山中、サンタ・カテリーナ修道院を望む

(紀元後330年コンスタンチヌス大帝母が建てた)

カテリーナ修道院「燃える芝」の下で



# 典礼研修会に参加して

岩淵 洋子

2月11日藤沢教会で「詩編」というテーマで典礼研修会が行われました。講師は熊本から来られたフランコ・ソットコロノラ神父様（聖ザベリオ宣教会、熊本錬成センター所長）でした。あの大きな藤沢教会の御聖堂にあふれんばかりの人が集まり、中和田教会からも8名の方々が参加されました。

講話は午前中、「詩編で神を賛美する」と「過ぎ越の聖なる三日間の詩編」という内容でお話があり、午後は当日の晩の祈りで歌われる詩編を唱和できるようシスターが指導して下さいました。質疑応答の後、「晩の祈りとミサ」で締めくくられました。詩編唱和は初めての経験でしたが、私にはとても新鮮で豊かなミサに感じられました。

まず詩編とは旧約聖書に納められた150編の神への賛美の詩であるなど、詩編の語源や歴史的な背景のお話からはじまり、詩編は私達が恵みにあずかることができることに感謝しつつ歌うものであり、信仰を深めるための祈りそのものであると。そしてその内容は喜びにあふれた、または悲しみをたたえた心のことば、心の叫びであり、神さまからのことば、または神さまへのことばである等々、詩編に対する神父様の想いを熱く、熱く語られました。そして詩編の種類には、神を賛美する歌、神のみ業を祈念する歌、神と共にいる喜びと信頼の歌、平和を願う歌、救いを願う歌等々8つに大別されると説明され、この幅広いジャンルごとに一つずつ、いつもミサで歌われている詩編を取りあげて、歌いながらその深い

意味をお話になりました。また答唱詩編以外にも、入祭や奉納、聖体拝領などミサの中の色々な場面で詩編が唱えられたり歌われたりします。

印象に残ったことは、詩編の構造はまず始めに強い感情を一つの文章で著し、それに続くいくつかの文章でその説明がされているということで、これにより、より強く、より深く訴えかける効果が出ていたとのことでした。いくつかの典礼聖歌の答唱部分や詩編を思い浮かべると納得のいくものでした。

それから聖土曜日（復活の聖なる徹夜祭）に読まれる7つの旧約朗読はできるだけ全部読みましょうとのことでしたが、時間的にも必要となる朗読者の人数からも中和田の場合はちょっと難しいかなと思いました。また質疑で出たことですが、答唱詩編で詩編奏者と答唱者は互いにことばのやりとりをしているのですから、詩編奏者は答唱部分は歌わない方が良いというのも参考になりました。

今まで詩編というと典礼聖歌の答唱詩編しか頭になかった私ですが、詩編のもつ意味や内容をしっかり受け止め、神さまが私達に何を語りかけ、何を求めているのか、私達は神さまにどう応えようとしているのか心に留め、皆さまの心に響くよう、歌ってきたいと思います。



## 岩淵委員長の

### コラム



■3月から5月にかけて、伊藤助祭、宮内助祭の司祭叙階式、カンペンハウド神父のダイヤモンド祝等、お祝い事が重なります。中和田教会も大変お世話になりましたので、祝賀の式への

ご出席をご検討頂けると幸いです。

■3月の委員会では、各グループの現状、課題、方針の議論がありました。各グループに共通して言えることは、大変効率的に運営され、教会の活動に貢献されてきましたが、メンバー数が少なく苦勞されており、メンバーも固定化される傾向にありますので、新しいメンバーのご参加が切に望まれます。

建物を考える会は土足化やそれに伴う掃除の仕方、祭壇周りの改善等、多くのテーマを抱えています。限られ

た予算の中で優先度を考えて行く必要があります。女性メンバーや、テーマごとに関心や知識をお持ちの方々のご参加で、より広く議論ができることを願っています。

行事グループは懸案の体制が固まりました。各地区の代表は森脇さん、太田さん、武田さん、内藤さんで、A+B,C+D地区の連携で各種行事に対応します。もちろんこれまで同様、全員で物事を進めて行く中和田教会の良い伝統は維持して行かねばなりませんので、宜しくお願い致します。

■サロン運営の奉仕者が少なく、維持が難しくなっているため、教会全体でサロンを運営して欲しいとのご依頼がヨゼフ会からありました。貴重な交流の場であるサロンを是非とも継続すべく、来月の委員会で具体的なサロン運営の方法を決定することとなりました。

以上、皆様の御協力を宜しくお願い申し上げます。

## 典礼こよみ（四月）

| 日  | 曜 |         | ミサ・勉強会           | 備考         |
|----|---|---------|------------------|------------|
| 1  | 木 | 聖木曜日    | ミサ (19時)         |            |
| 2  | 金 | 聖金曜日    | 祭儀 (19時)         |            |
| 3  | 土 | 聖土曜日    | ミサ (19時)         | 大掃除 (10時)  |
| 4  | 日 | 復活の主日   | 主日ミサ (10時)       | ミサ後祝賀会     |
| 9  | 金 |         | み心のミサ (9時)       |            |
| 10 | 土 |         |                  | 掃除 2 G     |
| 11 | 日 | 復活節第二主日 | 主日ミサ (9時)        | 教会委員会      |
| 17 | 土 |         |                  | 掃除 3 G     |
| 18 | 日 | 復活節第三主日 | 子どもと共に捧げるミサ (9時) |            |
| 24 | 土 |         |                  | 掃除 4 G     |
| 25 | 日 | 復活節第四主日 | 主日ミサ (9時)        |            |
| 29 | 木 | (昭和の日)  |                  | 宮内助祭の司祭叙階式 |

## 委員会だより

△ 3月14日(日) 10名出席▽

### ■小林神父指示事項

- ・聖週間は仕事忙しい方もおられるでしょうが是非参加願いたい
- ・共同宣教司牧サポーターチームが開催するいろいろな教育コースは、ご自分以外の方も推薦願いたい

### ■報告・審議事項

- ・伊藤助祭の司祭叙階式  
当日中和田から6名参加する。教会からの祝金と霊的花束は石川さんが代表で持参、贈呈する。  
霊的花束の取り纏めと送付は宣教グループが担当する。(次の宮内助祭の場合も同じ)
- ・宮内助祭の司祭叙階式(4月29日@聖園女学院)  
侍者は中和田から2名参加する。他に、受付、会場整理など計8名を募り、井上さんがミサ後の「お知らせ」で信徒にお願いする。  
祝金、霊的花束を贈呈する。  
カンペンハウド師(ダイヤモンド祝)祝賀ミサの出席者募集中

### ・赦しの秘跡

3月21日ミサ後に小林神父から「回心の呼び掛ける言葉」を頂いた後で行う

### ・聖週間のミサ、祭儀は全て19時から

第五地区共同宣教司牧委員会(2月28日)の報告

「祈る」「伝える」「証しする」の3分科会の活動を継続する

中和田は神父、委員長ともに「伝える」分科会に参画(この分科会の取り纏めは岩淵委員長が担当)する。課題意識としては、梅村司教の言葉「あなたも行きなさい」に留意する。司祭・修道者・信徒全員が「あなた」である。



・教会連絡網を改訂、3月21日に配布。  
信徒名簿の維持管理は総務グループが担当する

・スケジュール白板の記載内容3月分を配布した。4月の委員会では白板記載に間に合わせるために5月分を議論。  
・サロンは3月28日を取り止めて、復活祝賀会に合わせて行う

### ■各グループの活動計画・状況報告

(1)建物を考える会/営繕グループ  
建物を考える会

教会建物の問題抽出、優先度付け、見直しなどを行っており、信徒大会で説明した2010年度計画の検討を進めている。現在4人体制で進めているが、もつとメンバーを募りたい

### 《議論・コメント》

\* (委員長提案)「教会建物を考える会の正式グループ化」について  
もう少し時間が欲しい。これからどうしていくのか考えたい

\* 了解するが、いずれにしても金額からして暫定的な「会」の運用で済む話ではないと考える。(委員長)

\* 女性メンバーが少ない

\* 2010年度計画について、「予算」と書くのと承認されたことと誤解される場合があり、配慮願いたい。(委員長)

\* 意見を言いやすい雰囲気醸成、仕組みが必要

### ・掃除機の問題

\* 業務用掃除機を調査したが、吸引力は現在の方が性能がよいので、使用方法など資料を作り説明する

### (2)総務グループ

・ミッションを資料で説明(詳細略)

- 《議論・コメント》
- \* 資産管理は? → 財務グループ
- \* 案内版管理? → 総務グループ
- \* 消防対応は? → 要検討

### (3)財務グループ

・2月度一般会計 布教強化費12万円を看板継続などで支出

・月定献金、建設会計、愛の献金は3月の状況を見て、対応検討・報告したい  
・財務の役割分担・課題、教会会計処理基準を資料で説明(詳細略)

### (4)行事

・四地区代表が決まった。(3月21日ミサの「お知らせ」で紹介する)

・直近のご復活祝賀会は従来通りの規模・運営とし、準備をスタートする  
・ご復活祝賀会で教会委員の紹介を改めて行うように(小林神父)

### (5)宣教グループ

・資料で活動状況計画を説明(詳細略)  
・最大の課題は「中高生会」であり、今後第3日曜日に中高生会をやる

・聖歌を指導して下さる方がいるので第1、第4日曜日に行う

・若い人たちはeメールをよく使っているので、活用したらどうか(小林神父)

・3月21日に第五地区教会学校リーダー研修会が開催され、井上さんと石井さんが参加する。

### (6)要理学校

・資料で活動状況計画を説明(詳細略)  
・課題は「要理学校内だけではなく、信徒の皆さんとのふれあいの場」

・恒例の春の合同遠足は、本年は宮内助祭の叙階式参列にかえる

### (7)福祉グループ

・先週戸塚教会に集まったお米を届けた。  
・毎週「食カレー」を作っている。肉無しカレーなので肉の抛出を提案している。

### 《議論・コメント》

\* お米の寄付は、「一過性」ではなく「永続的」なことを信徒に周知する

\* 集まった義援金や寄付金と、財務グループが所轄する「愛の献金」との関係の明確化が必要。

\* これについては、既に「愛の献金を考える会」で考え方を2008年に報告しているが、その後の状況変化もあり、見直し検討をしていく。

### (8)典礼グループ

・資料で活動状況計画を説明(詳細略)  
・3月、4月の典礼内容確認  
・典礼グループとしての課題は  
\* 典礼の仕事「若い人」に手伝わってもらいたい  
\* 小教区としての「祈る力」を強める行動、集会祭儀

\* 個人としての祈りの深耕・勉強・研修を復活、  
\* 葬儀関係の奉仕、先唱/朗読など

・勉強会は、信徒に周知して自由に参加出来るようにしたい(小林神父)

### (9)広報グループ

・資料で活動内容計画を説明(詳細略)  
・課題は、メンバーとコンテンツの拡充  
・若い人への呼びかけに注力してはどうか(小林神父) → 検討する

### ■ヨゼフ会からの要請(鶴田さん)

・サロン運営の奉仕者が少なく、且つ奉仕者は高齢の方が多いため運営が立ち行かなくなっている。

・ヨゼフ会も運営を一新するが、サロンの運営は委員会主導で「教会行事」としてやって欲しい。

★議論の結果、「貴重な交流の場であるサロンは継続する(委員長)」という前提で、来月の委員会で具体的な希望提案を鶴田さんから頂く。

### ■小林神父補足追加事項

・大宮実乃莉(みのり)ちゃんの洗礼祝いを祝賀会の主旨に織込むこと

■最後に岩淵委員長より2010年課題フォローリストを配布し、神父様のお祈りをもって終了  
(次回は4月11日)